

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成29年1月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質(一般項目)】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



# 目 次

## I 事後調査の概要

1. 調査概要 .....	I - 1
2. 工事の実施状況 .....	I - 3
3. 調査結果の概要 .....	I - 4

## II 事後調査結果

1. 大気質 .....	II - 1
2. 水質 .....	II - 9



## I 事後調査の概要

## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 29 年 1 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	1月1日～31日	通年連続

表－1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	1月18日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

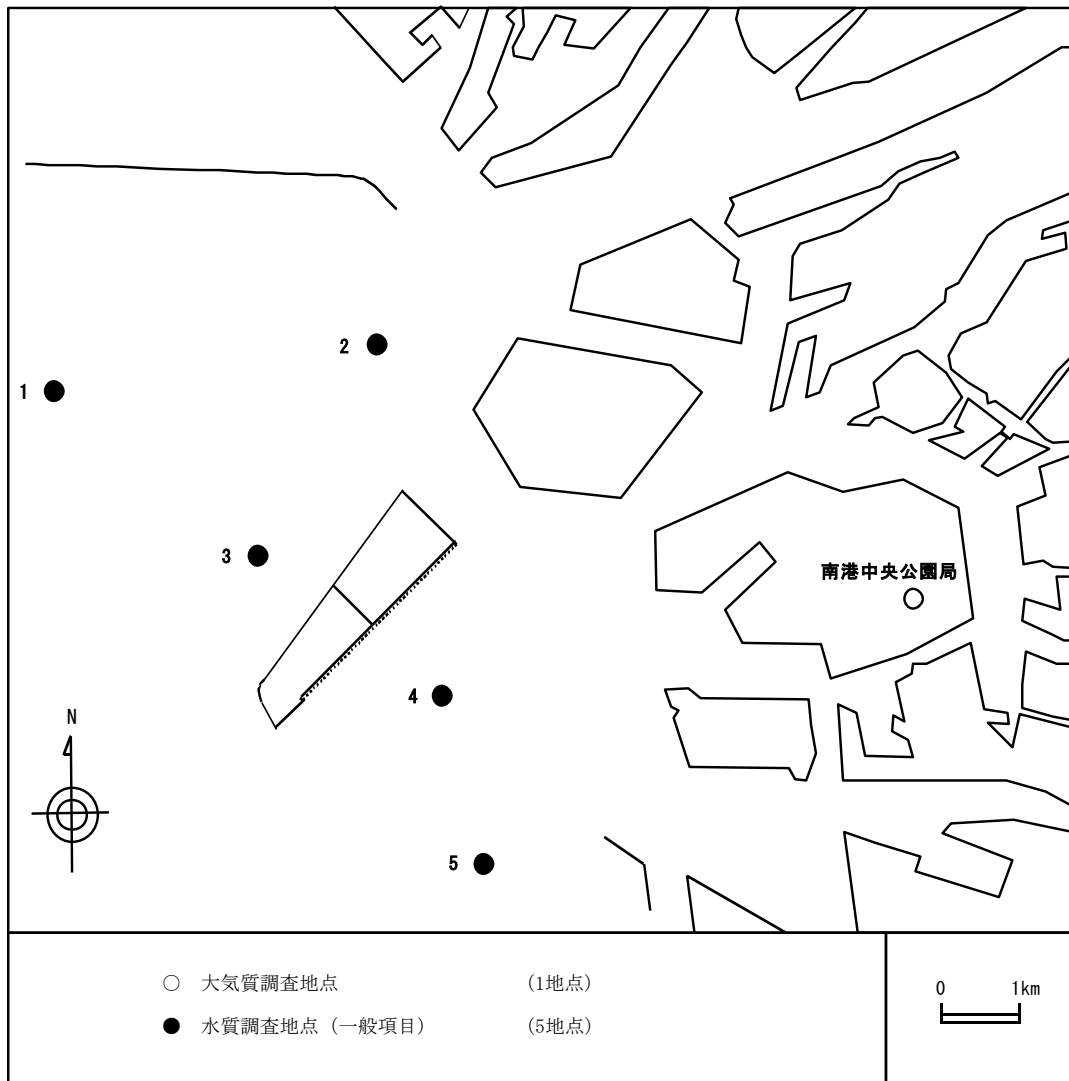
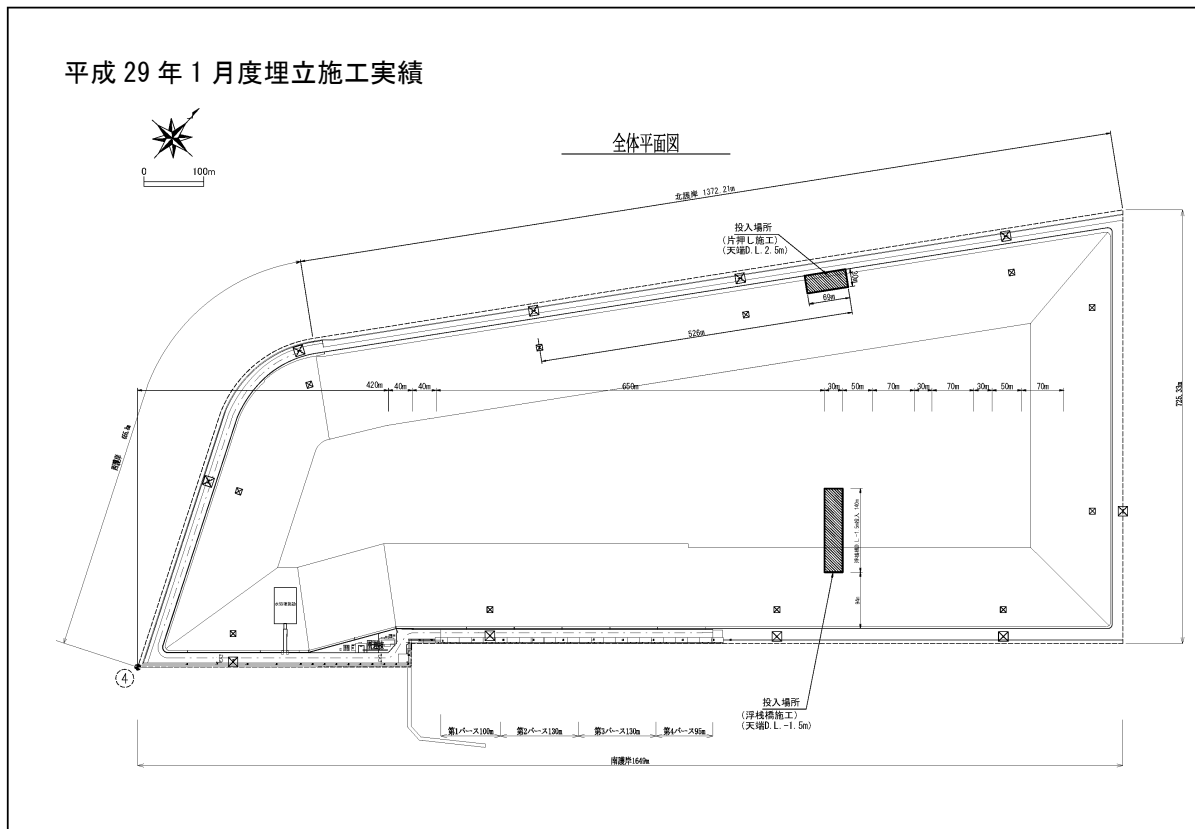


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

## 2. 工事の実施状況

平成 29 年 1 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
4,001,466	28.6

埋立容量 (計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)



### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】  
二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.003ppm であった。また、日平均値の最高値は0.007ppm、1時間値の最高値は0.028ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】  
二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.022ppm であった。また、日平均値の最高値は0.047ppm であり、環境基準値の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】  
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.015mg/m<sup>3</sup> であった。また、日平均値の最高値は0.026mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.046mg/m<sup>3</sup> であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】  
水素イオン濃度 (pH) は上層で8.0～8.2の範囲、下層で8.0～8.1の範囲にあり、上層、下層共に、全ての調査地点で環境基準値を満たしていた。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg /L 以下】  
化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.6～3.6mg /L、下層で1.7～2.4mg /Lの範囲にあり、上層では調査地点1、4において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点1 (3.1mg/L)、調査地点4 (3.6mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成12年度）は上層で1.6～4.9 (mg/L) であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg /L 以上】  
溶存酸素量 (DO) は上層で9.9～11.0mg /L、下層で8.6～9.0mg/Lの範囲にあり、上層、下層共に、全ての調査地点で環境基準値を満たしていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg /L 以下】  
全窒素 (T-N) は上層で0.68～1.6mg/L、下層で0.23～0.31mg/Lの範囲にあり、上層では全ての調査地点で環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値

を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.97mg/L)、調査地点 2 (0.74mg/L)、調査地点 3 (0.68mg/L)、調査地点 4 (1.6mg/L)、調査地点 5 (0.75mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

#### 5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.052～0.10mg/L、下層で 0.032～0.042mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点で環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.070mg/L)、調査地点 2 (0.056mg/L)、調査地点 3 (0.052mg/L)、調査地点 4 (0.10mg/L)、調査地点 5 (0.059mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021～0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

#### 6) 濁度

濁度は上層で 1.0～3.3 度(カリン)、下層で 1.2～3.0 度(カリン)の範囲であった。

#### 7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 1～2mg/L、下層で報告下限値未満 (<1 mg/L) ～3mg/L の範囲であった

#### 8) クロフィル a

クロフィル a は上層で 3.8～13  $\mu$ g/L、下層で 3.0～4.8  $\mu$ g/L の範囲であった。

## 《 参 考 》

### ■環境基準等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

##### (2)水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。

なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

## II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [平成29年1月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	736
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	3
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成29年1月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)	
日	1 (日)	0.002	0.006	
	2 (月)	0.004	0.010	
	3 (火)	0.002	0.006	
	4 (水)	0.003	0.009	
	5 (木)	0.001	0.002	
	別	6 (金)	0.001	0.002
		7 (土)	0.003	0.008
		8 (日)	0.000	0.001
		9 (月)	0.002	0.005
		10 (火)	0.003	0.007
値		11 (水)	0.002	0.004
		12 (木)	0.003	0.005
		13 (金)	0.002	0.006
		14 (土)	0.001	0.003
		15 (日)	0.001	0.003
	16 (月)	0.001	0.004	
	17 (火)	0.002	0.005	
	18 (水)	0.007	0.021	
	19 (木)	0.004	0.008	
	20 (金)	0.004	0.010	
	21 (土)	0.002	0.003	
22 (日)	0.002	0.005		
23 (月)	0.002	0.008		
24 (火)	0.003	0.008		
25 (水)	0.002	0.009		
26 (木)	0.003	0.011		
27 (金)	0.007	0.021		
28 (土)	0.003	0.007		
29 (日)	0.005	0.028		
30 (月)	0.002	0.004		
31 (火)	0.001	0.006		
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		736		
月平均値 (ppm)		0.003		
日平均値の最高値 (ppm)		0.007		
1時間値の最高値 (ppm)		0.028		
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果 [平成29年1月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (日)	0.006	0.023
	2 (月)	0.006	0.026
	3 (火)	0.001	0.002
	4 (水)	0.012	0.075
	5 (木)	0.003	0.008
	6 (金)	0.004	0.011
	7 (土)	0.021	0.086
	8 (日)	0.002	0.003
	9 (月)	0.003	0.009
	10 (火)	0.003	0.009
別	11 (水)	0.003	0.008
	12 (木)	0.003	0.006
	13 (金)	0.003	0.006
	14 (土)	0.002	0.004
	15 (日)	0.002	0.003
	16 (月)	0.004	0.010
	17 (火)	0.008	0.042
	18 (水)	0.059	0.136
	19 (木)	0.028	0.096
	20 (金)	0.025	0.098
値	21 (土)	0.002	0.006
	22 (日)	0.005	0.029
	23 (月)	0.004	0.015
	24 (火)	0.006	0.031
	25 (水)	0.009	0.081
	26 (木)	0.044	0.154
	27 (金)	0.049	0.195
	28 (土)	0.010	0.079
	29 (日)	0.007	0.042
	30 (月)	0.012	0.043
	31 (火)	0.004	0.010
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.011	
日平均値の最高値 (ppm)		0.059	
1時間値の最高値 (ppm)		0.195	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。



二酸化窒素測定結果 [平成29年1月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (日)	0.021	0.039
	2 (月)	0.020	0.035
	3 (火)	0.011	0.028
	4 (水)	0.021	0.040
	5 (木)	0.013	0.025
	6 (金)	0.021	0.034
	7 (土)	0.039	0.055
	8 (日)	0.015	0.028
	9 (月)	0.016	0.031
	10 (火)	0.018	0.029
別	11 (水)	0.014	0.028
	12 (木)	0.014	0.022
	13 (金)	0.012	0.022
	14 (土)	0.006	0.016
	15 (日)	0.004	0.011
	16 (月)	0.012	0.028
	17 (火)	0.022	0.043
	18 (水)	0.047	0.054
	19 (木)	0.036	0.051
	20 (金)	0.031	0.053
値	21 (土)	0.013	0.034
	22 (日)	0.017	0.036
	23 (月)	0.016	0.033
	24 (火)	0.020	0.044
	25 (水)	0.025	0.056
	26 (木)	0.043	0.062
	27 (金)	0.044	0.066
	28 (土)	0.033	0.054
	29 (日)	0.030	0.045
	30 (月)	0.020	0.032
	31 (火)	0.018	0.028
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.022	
日平均値の最高値 (ppm)		0.047	
1時間値の最高値 (ppm)		0.066	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		3	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第5号（埋立地関連）

窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [平成29年1月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値(ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> /(NO+NO <sub>2</sub> )(%)	
日	1 (日)	0.026	78.8	0.055
	2 (月)	0.026	78.0	0.054
	3 (火)	0.012	91.6	0.029
	4 (水)	0.033	64.4	0.115
	5 (木)	0.016	83.7	0.033
	6 (金)	0.025	85.5	0.045
	7 (土)	0.060	64.8	0.130
	8 (日)	0.016	90.6	0.030
	9 (月)	0.018	85.5	0.039
	10 (火)	0.020	86.5	0.037
別	11 (水)	0.018	80.7	0.036
	12 (木)	0.017	82.4	0.028
	13 (金)	0.015	83.0	0.028
	14 (土)	0.008	73.3	0.020
	15 (日)	0.006	69.3	0.014
	16 (月)	0.016	77.9	0.038
	17 (火)	0.030	74.2	0.085
	18 (水)	0.106	44.4	0.186
	19 (木)	0.064	56.1	0.147
	20 (金)	0.056	55.5	0.151
値	21 (土)	0.015	87.8	0.040
	22 (日)	0.022	76.9	0.065
	23 (月)	0.020	78.8	0.048
	24 (火)	0.026	76.3	0.071
	25 (水)	0.034	72.2	0.137
	26 (木)	0.088	49.7	0.208
	27 (金)	0.093	47.0	0.256
	28 (土)	0.042	77.3	0.130
	29 (日)	0.037	80.4	0.085
	30 (月)	0.032	62.1	0.074
	31 (火)	0.021	82.7	0.036
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		739		
月平均値 (ppm)		0.033		
日平均値の最高値 (ppm)		0.106		
1時間値の最高値 (ppm)		0.256		
月平均値 NO <sub>2</sub> /(NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		66		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub>/(NO+NO<sub>2</sub>)の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO<sub>2</sub>/(NO+NO<sub>2</sub>) =

(NO及びNO<sub>2</sub>が同時測定されている時間のNO<sub>2</sub>濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO<sub>2</sub>が同時測定されている時間のNO+NO<sub>2</sub>濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [平成 29 年 1 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (日)	0.018	0.023
	2 (月)	0.022	0.030
	3 (火)	0.021	0.027
	4 (水)	0.023	0.033
	5 (木)	0.013	0.018
	6 (金)	0.010	0.013
	7 (土)	0.016	0.026
	8 (日)	0.009	0.014
	9 (月)	0.011	0.015
	10 (火)	0.018	0.027
別	11 (水)	0.011	0.019
	12 (木)	0.013	0.019
	13 (金)	0.013	0.025
	14 (土)	0.008	0.018
	15 (日)	0.004	0.007
	16 (月)	0.004	0.007
	17 (火)	0.008	0.016
	18 (水)	0.017	0.034
	19 (木)	0.026	0.041
	20 (金)	0.025	0.044
値	21 (土)	0.016	0.031
	22 (日)	0.015	0.023
	23 (月)	0.010	0.014
	24 (火)	0.008	0.012
	25 (水)	0.010	0.024
	26 (木)	0.017	0.035
	27 (金)	0.025	0.046
	28 (土)	0.019	0.029
	29 (日)	0.023	0.035
	30 (月)	0.018	0.033
	31 (火)	0.010	0.016
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		741	
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.015	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.026	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.046	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号（埋立地関連）

気象観測結果（風向・風速）[平成29年1月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向  16方位
		平均 風速  (m/s)	最大風速		
			風速  (m/s)	風向  16方位	
日	1 (日)	0.9	3.0	W	CALM
	2 (月)	0.8	2.2	WNW	SW
	3 (火)	1.4	3.3	WSW	WNW
	4 (水)	1.2	3.0	W, NNE	CALM
	5 (木)	1.4	2.6	NNW	NW
	6 (金)	1.0	1.9	NNE	NNE
	7 (土)	0.8	1.3	ESE	NNE
	8 (日)	1.4	3.3	NNE	NNE
	9 (月)	1.4	2.9	WSW	WNW
	10 (火)	1.9	4.1	W	WNW
別	11 (水)	2.2	3.5	WNW	WNW
	12 (木)	2.7	4.0	WNW	WNW
	13 (金)	3.2	5.5	WSW	WNW
	14 (土)	4.1	6.0	WNW	WNW
	15 (日)	2.6	4.5	WNW	WNW
	16 (月)	1.8	3.2	NW	WNW
	17 (火)	1.1	2.6	NW	NW
	18 (水)	0.6	1.5	WSW	CALM
	19 (木)	1.1	2.1	NNE	NNE
	20 (金)	1.9	5.1	WNW	WNW
値	21 (土)	1.2	3.8	NW	NW
	22 (日)	1.8	4.2	WNW	WNW
	23 (月)	2.0	3.8	WNW	WNW
	24 (火)	1.2	2.6	W, WNW	NW
	25 (水)	0.9	1.4	WNW, W, WSW	ESE, WNW
	26 (木)	0.9	2.3	SW	ESE, CALM
	27 (金)	0.9	2.1	WNW	NNE
	28 (土)	0.7	1.1	ESE, ESE	NNE
	29 (日)	0.9	2.3	NNE	NNE
	30 (月)	1.8	4.2	WNW	WNW
	31 (火)	1.3	2.1	NW	NW
測定時間（時間）		743			
月平均風速 (m/s)		1.5			
月最大風速 (m/s)		6.0			
月最多風向（16方位）		WNW			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

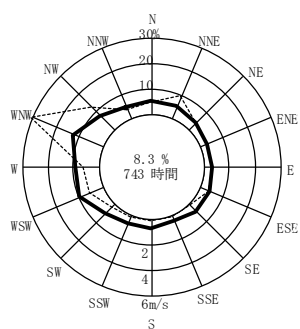
大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成29年1月分]

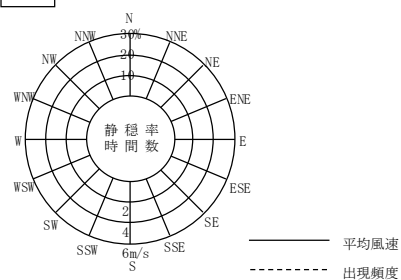
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	73	30	23	27	29	7	4	6	5	12	41	43	221	96	28	36	62	743
頻度 (%)	9.8	4.0	3.1	3.6	3.9	0.9	0.5	0.8	0.7	1.6	5.5	5.8	29.7	12.9	3.8	4.8	8.3	-
平均風速 (m/s)	1.1	0.9	0.7	0.7	0.9	0.9	0.5	0.7	0.7	1.0	1.9	1.8	2.5	1.5	1.0	1.1	0.2	-

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m



凡例



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成29年1月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成29年1月分]

調査日：平成29年1月18日

項目	調査点					最小値	～	最大値	平均値	
	1	2	3	4	5					
時刻	8:45	8:28	9:15	10:05	9:43	—			—	
透明度 [m]	4.9	4.2	5.0	2.6	4.2	2.6	～	5.0	4.2	
水温 [°C]	10.1	9.5	10.6	9.6	9.3	9.3	～	10.6	9.8	
	11.6	11.6	11.8	11.8	11.7	11.6	～	11.8	11.7	
塩分 [—]	22.08	23.09	26.74	20.85	27.32	20.85	～	27.32	24.02	
	31.81	31.49	31.77	31.84	31.89	31.49	～	31.89	31.76	
濁度 [度(カサ)]	1.5	1.4	1.0	3.3	1.5	1.0	～	3.3	1.7	
	3.0	1.2	1.3	2.4	1.7	1.2	～	3.0	1.9	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	2	2	1	2	2	1	～	2	2	
	3	<1	2	3	2	<1	～	3	2	
水素イオン濃度 (pH) [—]	8.0	8.0	8.1	8.2	8.1	8.0	～	8.2	—	
	8.0	8.1	8.0	8.0	8.1	8.0	～	8.1	—	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	3.1	2.9	2.7	3.6	2.6	2.6	～	3.6	3.0	
	2.3	2.4	1.8	1.7	1.7	1.7	～	2.4	2.0	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	10	9.9	10	11	11	9.9	～	11	10
	飽和度 [%]	102	100	106	110	114	100	～	114	106
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.97	0.74	0.68	1.6	0.75	0.68	～	1.6	0.95	
	0.27	0.26	0.23	0.31	0.28	0.23	～	0.31	0.27	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.070	0.056	0.052	0.10	0.059	0.052	～	0.10	0.067	
	0.042	0.032	0.034	0.038	0.034	0.032	～	0.042	0.036	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	3.8	4.3	5.0	13	6.3	3.8	～	13	6.5	
	3.5	4.8	3.0	4.3	3.2	3.0	～	4.8	3.8	

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------